

講座名：「庭園の歴史と見かた」

講 師： 多田 充(観光学部教授)

日 程： 5月13日、5月18日

市民未来大学 健康・趣味・教養コース「庭園の歴史と見かた」は観光学部の学生と合同で、講義と現地見学を行いました。古代エジプト時代と古墳時代からの西洋庭園と日本庭園デザインの変化を講義で学んだあと、見学では浜離宮庭園と日比谷公園に赴き、鑑賞ポイントを現地で確認しました。ファッションと同じように、庭園には定型の様式があり、形を見ることでその設計意図を読み解くことができます。また、現地見学では植栽されている植物等の季節の管理にも話が及びました。歴史的庭園は観光先としても人気があり、旅行で鑑賞する機会も多くあります。本授業を通じて庭をより深く楽しんでいただけたら幸いです。

【講義】



【現地見学（浜離宮庭園）】



江戸時代に植えられた樹齢三百年のクロマツ。樹勢回復のための管理を聞きました。



八景山から潮入の池、お伝い橋と中島の御茶屋を望む受講生。茶の湯だけでなく、釣りやカモ猟など、庭にお成りした将軍の遊びについても学びました。

【お問合せ】
城西国際大学 社会連携課
Mail: clics-jim@jiu.ac.jp
TEL: 0475-55-7685